

若手社員参加しアイデアソン

オリコンサルグローバル

オリエンタルコンサルタンツグローバルは3月27日、「当社が実施中のプロジェクトの課題解決に資するアイデア」をテーマとした第1回アイデアソン発表会を開いた。一般職を中心とした若手社員3チーム、計11人が約3カ月間にわたって課題とその解決策のアイデアを出し合い議論を深めた成果を発表した。優勝チームのアイデアは実際にプロジェクトで実施しながら将来的に事業化を目指す。

この企画は、2023年10月に創設した新規事業推進部が企画運営し、同社取締役が審査員を務めた。本社会場とウェブ合わせて約70

新規・民間事業拡大へ



米澤栄二社長（左）と優勝チーム

人が参加した発表会の冒頭、山本賢一執行役員新規事業推進部長は「民間事業を拡大し売り上げを伸ばすことで世界有数のコンサルタントに追いつくことも可能であり、われわれの報酬を大幅に増やすこともできる。中長期計画のターゲットイヤーである30年に活躍

しているのは今の20代、30代の若手の皆さんだ。そのマインドをODA（政府開発援助）事業のみならず、新規事業や民間事業に向かうよう、このアイデアソンを企画した」と趣旨を説明した。

参加チームは、議論の過程で実際のプロジェクトでの実現性や事業としての需要の有無といった市場性なども調査・検討してアイデアをブラッシュアップさせた。各発表に対する質疑応答でも「類似の既存事業との差別化は。当社が実施する強みは何か」「チームが想定した地域で需要はあるのか。他国・他地域のほうがよいのでは」「事業のターゲットはだれか。想定している顧客はもっと別の分野が良いのでは」などと事業化を見据えた具体的な質問やコメントが多く出された。